

第3回 文部科学省調査協力者会議

小学校における  
特別支援教育の課題  
～授業改善と研修のあり方を中心に～

東京都立川市立第九小学校  
教諭 菅原 眞弓

# 現場で求められる総合力

## 学級経営力

人間関係づくり、ルールづくり、  
集団の統率、個々のよさを認  
めて生かす、違いを認める、  
対応力

## 授業力

学習の目的やねらい、わかり  
やすさ、学ぶ楽しさ、個に応じ  
た指導、指導技術、一般化、  
対応力

## 特別支援教育

アセスメント、障害の特性の理  
解、学習スタイル、周囲の児  
童への説明、保護者対応、専  
門機関との連携

## 教員としての 基本的な資質

深い愛情、心の痛みの理  
解、人間としての向き合い  
方、コミュニケーション能力

# 授業改善のための現状と課題①

## 【学習指導に関する現状】

学級経営力○  
授業力○  
特別支援教育○

学級経営力△  
授業力○  
特別支援教育△

学級経営力△  
授業力△  
特別支援教育△

# 授業改善のための現状と課題②

## 【個別指導計画の作成と活用について】

### 作成の現状

- ・アセスメントも行動面のみ
- ・行動面だけの目標
- ・学習への参加の仕方
- ・教科も国語や算数くらい
- ・評価がない
- ・形式で悩んでいる



課題①専門性  
②形式

### 活用の現状

- ・授業に取り入れない
- ・校内委員会で活用しない
- ・保護者に開示しない
- ・専門機関に相談しない
- ・通知表と一本化していない
- ・引き継ぎの資料にしない



課題①授業改善  
②システム

# 授業改善のための現状と課題③

## 【授業改善のための課題】

学習指導要領

教科書

校内研究会

学級経営や具体的な対応力

個に応じた指導  
と特別支援教育  
をベースに!!  
抜本的な改革が  
必要である

# 授業改善のための現状と課題④

## 【条件整備に関する現状】

教材研究や授業の  
準備時間が少ない

若手教員の増加  
10年後半数が入れ  
替わる

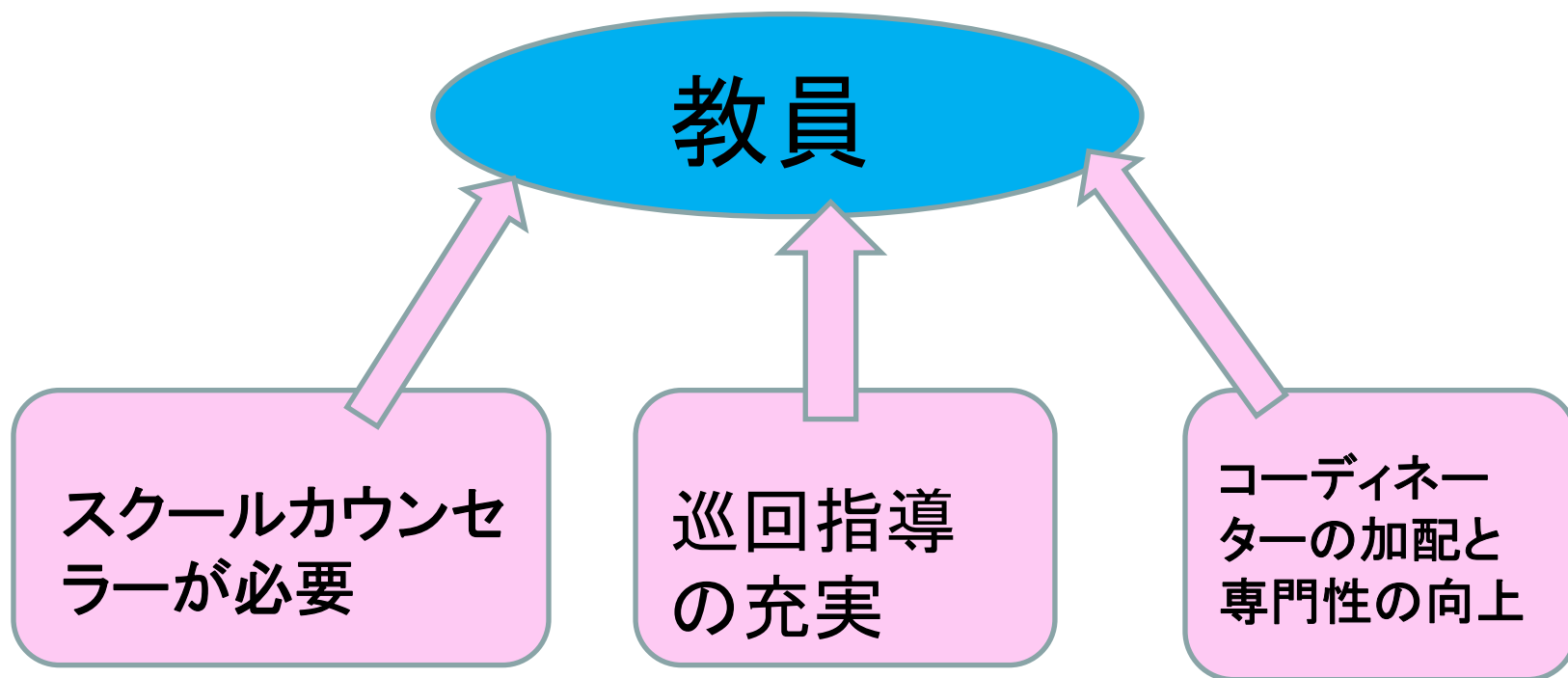
1学級の児童数  
が多い

学級集団の  
質の変化

施設・設備の不足

【課題】①教科指導に専念できる体制(専科・事務等)  
②学級の児童数削減③若手教員の育成と支援体制  
④子育て支援スタッフ⑤施設・設備の充実

# 教員への専門的なサポート



# 教員採用の現状と課題

授業力が0から  
スタート

学級経営につい  
て学んでいない

社会的な経験が  
少なく、人とのか  
かわりが苦手

通信で免許取得の  
ケースも多い

特別支援教育につ  
いて学んでいない

【課題】①教員養成のあり方②任用前研修が必要③指導教官の確保④保有免許について⑤特別支援教育をベースにした教科指導⑥人間関係育成能力の育成



# 教員採用試験で求められる資質

1. 特別支援教育に関する簡単な知識[筆記試験]
2. 対応力[面接試験] ※30分のうち10分程度かける

Q教室に行ったら血を流してけんかをしていました。  
どのように対応しますか。

Q教室からフラフラと出て行ってしまいました。  
どのように対応しますか。

Q音楽の授業中に楽器を壊してしまいました。  
注意すると暴言を吐きました。  
どのように対応しますか。

※H20年8月東京都二次面接

# 特別支援学級の現状と課題

## 【特別支援学級（固定、通級）の現状】

ニーズの多様化

初任者が多数着任

専門的な研修の機会が非常に少ない

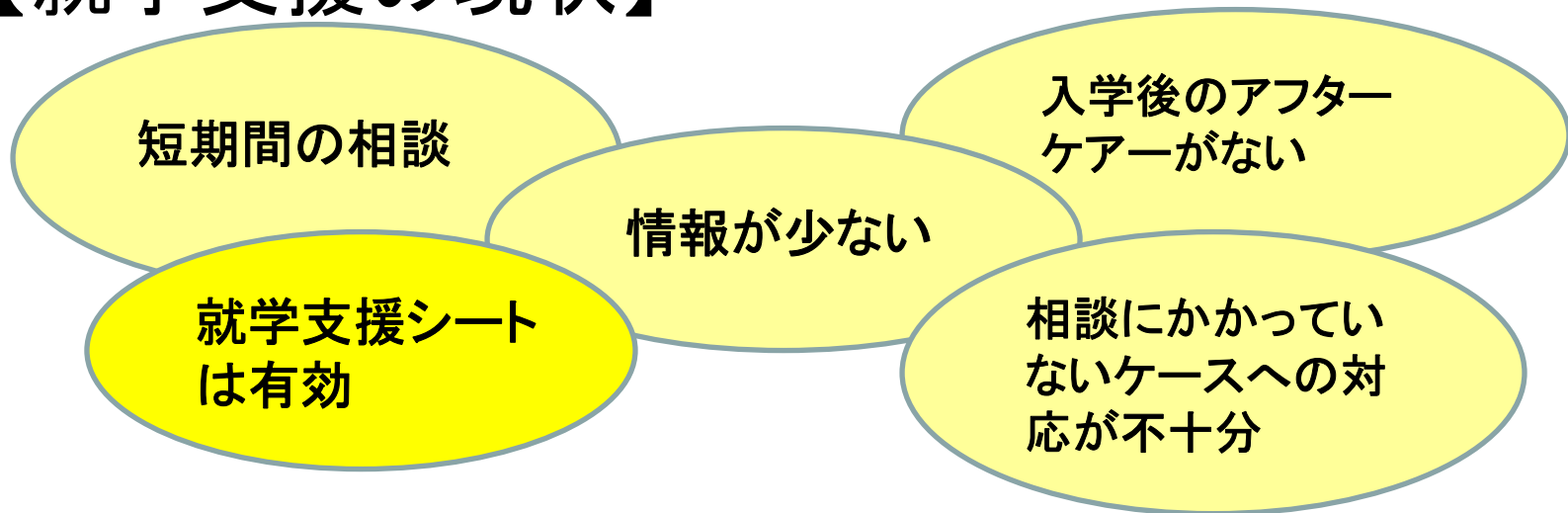
指導者やモデルが近隣にいない

保有免許は小学校全科が多い

【課題】①選考試験の改善②任用前研修の実施  
③指導者の派遣④地区ごとに指導計画等の書式統一⑤専門機関との連携推進

# 就学支援の現状と課題

## 【就学支援の現状】



- 【課題】①就学支援シートの導入②情報提供  
③就学時健診の改善④5才児検診の創設  
⑤幼保との連携

# 児童、家庭、地域への啓蒙の方法

【特別支援教育のメリットを打ち出すチャンス】

一人ひとりに行きとどいた、きめ細かい教育を推進

個に応じた学習指導中心の授業展開

いじめ0と不登校0を目指す